

■2022年度

事業計画および収支予算

2022年度 事業計画・収支予算の報告

【2022年度 事業計画】

社会の現状

2年続いた新型コロナウイルス感染症拡大により、数多くのイベントが中止や、オンライン開催に追い込まれた。イベントにはライブな魅力はあるものの、安全安心への不安から、人々の生活から遠のいてきている。

JACEの現状と課題

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による会員各社の収益悪化、また会員となっているメリットを感じない等の理由で、会員社数が減少してきている。
- ・イベント資格検定受験者の減少、特にプロ向けの「イベント業務管理士」試験1級・2級の受験者の減少が（新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあるが）続いており、収益の悪化に直結している。
- ・イベント業界の中で、JACEという団体の認知がまだまだ高いとは言えない。

⇒イベント産業の発展を牽引する役割の、JACEの存在意義が、今まさに問われている

■2022年度の活動方針

1. イベント業界の健全な発展を牽引するアクティベーターとしての活動
2. イベント産業のためのJACE認知向上と企業・団体などの参画意欲拡大
3. イベント産業への人材獲得と収支バランスを注視した資格検定事業改善
4. イベント産業の次世代を担う若手人材の育成
5. 上記活動を実行するための「委員会」や「部会」の活性化

■2022年度方針

1. イベント業界の健全な発展を牽引するアクティベーターとしての活動

イベントの未来を見据え、SDGsの世界的な潮流を踏まえて、「サステナビリティ委員会」を設立する。また、2025年大阪・関西万博協会と連携し、イベント・サステナビリティ・マネジメント・システム（ESMS）を万博終了後も業界で活用できるよう検討を進める。

<アクションプラン>

◎「サステナビリティ委員会設立」

昨年度のワーキンググループを継承拡大して、今年度は JACE「サステナビリティ委員会」とし、個社では取り組みにくいイベントのサステナビリティというテーマについて、より深い議論をしていき、事例集、協会内啓発事業、ガイドライン作り等、将来の JACE 会員社やイベント業界に関わる企業に資する活動を目指す。5 月中に委員会メンバーを決定し、6 月から委員会を実施する。

◎「2025 年日本国際博覧会協会との連携」

2025 年日本国際博覧会協会も ESMS 導入が決まっており、2025 年以降もイベント実施において【使い勝手の良いガイドライン】作りというゴールを目指し、大阪・関西万博協会と JACE とが連携して制作し、万博以降は JACE が主体的に活用していくことを検討する。

2. イベント産業のための JACE 認知向上と企業・団体などの参画意欲拡大

イベントおよびイベント産業の発展、注目度・魅力度向上、JACE のブランディングのために「JACE イベントアワード」事業の更なる価値向上、JACE 認知拡大を目指しイベント業界の裾野を広げ企業・団体などの JACE への参画意欲拡大を図る。

<アクションプラン>

- ・ 受賞作のランキングを明確化する。
- ・ 新部門（カテゴリー）を設置することで、規模の小さな業界関係者や学生等への興味関心を喚起しエントリーの促進を図る。
- ・ イベントに携わる「人」に対して表彰する賞を検討する。
- ・ 広報活動を積極的に行う。

上記の施策を「アワード部会」での検討事項とする。

3. イベント産業への人材獲得と収支バランスを注視した資格検定事業改善

まずは資格取得における付加価値創出を前提としつつ、オンライン化による受験機会拡大によって受験者増を実現しイベント従事者のスキルアップを図る。また、大幅な原価削減と合わせて協会活動のための資金調達を獲得する。さらに、より多くの大学や専門学校へのアプローチを行い、これからのイベント産業を担う人材の発掘・育成活動を実行する。

<アクションプラン>

- ・ 資格検定試験のオンライン試験を導入する。日本全国約 300 カ所のテストセンターで受験が可能になったことと、試験実施日の幅を設けることで受験者拡大を図る。
- ・ 受験実施期間は、「2 級」と「3 検定」は年 2 回、1 か月の設定（期間内複数回受験可）とし、可否は即日発表とする。「1 級」は年 1 回、2 週間程度の設定とし、可否は約 1 か月後（採点期間のため）に行う。
- ・ 試験対策セミナーもオンラインによる有期間のオンデマンド方式を導入する。

- ・ 3 検定の受験者増を図るために、資格特権として会員社へのリクルートの斡旋をお願いしたい。
- ・ イベント検定、スポーツイベント検定については、賛助会員増を図る。また、既賛助会員に属するグループ傘下の学校への認可を検討する。
- ・ ユニバーサルイベント検定は、そのプレゼンスアップに注力する。賛助校に直接説明に伺うことで、まずは既存授業のなかの一コマに組み込むことを推奨し、来年度からの授業化に向けた働きかけを行う。また、自治体などへのキャラバン活動、出前セミナーなどを積極的に行う。
- ・ イベント業務管理士の受験者増については、会員社内でのトップダウン推奨を引き続きお願いするとともに、検定サイトへの広告出稿などを検討する。

2022 年度資格検定スケジュール

	イベント業務管理士		3つのイベント検定		
	1 級	2 級	イベント検定	スポーツ イベント検定	ユニバーサル イベント検定
セミナー申込	11/16～2023/1/20		前期 5/16～7/15	後期 9/16～11/15	
セミナー実施	12/1～2023/2/5		前期 6/1～7/31	後期 10/1～11/30	
試験申込	11/16～2023/2/2		前期 4/4～7/28	後期 9/16～11/27	
試験実施	2023/1/21～2/5		前期 7/1～7/31	後期 11/1～11/30	

4. イベント産業の次世代を担う若手人材の育成

慢性的に人材不足に悩むイベント業界のため、将来の中核を担うべき、若い人材を集め、育てるためのプログラムを用意する。

<アクションプラン>

- ・ イベント 3 検定を改めて、スポーツ系大学、専門学校を中心に周知徹底することで、人材の底上げを図る。
- ・ 正会員社の新入社員を対象に、イベント業界の基礎知識を学べるセミナー（ウェビナー）を実施する。
- ・ イベントの魅力を見出すセミナーを実施する。現場社員が即、仕事に役立てる実践的セミナーについても検討する。
- ・ 正会員社の若手社員を集め、交流イベントを実施する。

(会議体例)

4 半期に 1 回程度、交流イベントを実施し、イベント業界・自分自身の将来について、ディスカッションし、また懇親会を実施することで、一体感を醸成する。

(テーマ例)

「いまさら人に聞けないイベントの成り立ち」「10 年後にイベントの現場に立つ自分を想像しよう」「残業のない現場ってできるかな？」など、身近でかつ自分ゴト化できてディスカッションしやすいものを選定する。

上記の施策を「交流部会」での検討事項とする。

5. 上記活動を実行するための「委員会」や「部会」の活性化

既存の「総務委員会」、「人材育成委員会」、「アワード部会」に加えて、「サステナビリティ委員会」「交流部会」を立ち上げる。コロナ禍でコミュニケーション不足が否めないため、新型コロナウイルス感染症終息後は、リアルでの交流の充実化を図る。

<アクションプラン>

◎交流部会の結成

業種、会社規模の異なる7社程度に参画依頼する。部会長を決定後、部会長と相談して、5月中旬に部会メンバーを決定し、6月から当初は月に1回、下期からは2か月に1回程度、部会を実施する。顔合わせ以外は、オンラインでの実施を想定しており、テーマ、事業内容、時期等をディスカッションする。部会の話し合い次第では、複数のグループを作り、各グループで具体的な内容・開催時期を決めることも検討する。

(例)

グループ	テーマ	アクション
A	若手社員交流会	年に数回、ウェビナー・セミナーを開催し、懇親会を行う
B	ビジネスマッチング	2025年大阪・関西万博を見据えた視察ツアーの企画

■ 2022年度各委員会・部会メンバー

① 総務委員会

役割	氏名	会員社名	部署名/役職名(2022年4月1日時点)
委員長	山口 吉章	(株)乃村工藝社	事業統括本部 営業推進本部 第二事業部 事業部長
副委員長	舩森 丈人	(株)テー・オー・ダブリュー	取締役 兼 執行役員 管理本部長
委員	田所 義教	(株)ADK クリエイティブ・ワン	アクティベーション本部 本部長補佐 兼 第1コミュニケーション・プランニング局 局長 シニア・ゼネラル・プロデューサー
委員	佐々木 淳	(株)ジェイアール 東日本企画	企画制作本部 エクスペリエンシャル・プロモーション局 次長
委員	齋藤 友輔	(株)JTB	ビジネスソリューション事業本部 事業推進チーム 事業推進担当部長
委員	松田 英彦	(株)セレスポ	取締役 事業本部副本部長 兼 事業支援部部長 兼 営業推進室長
委員	渡里 大介	大日本印刷(株)	情報イノベーション事業部 DXセンター ハイブリッドマーケティング本部 本部長
委員	野村 英司	(株)丹青社	コミュニケーションスペース事業部 事業部長
委員	石阪 太郎	(株)電通ライブ	執行役員
委員	前田 暢彦	(株)東急エージェンシー	エクスペリエンスクリエイションセンター 第3統合ソリューション局 局長
委員	藤本 真理子	(株)博報堂	MDX 戦略局アセットマネジメント部 部長
委員	長田 芳曉	(株)博報堂プロダクツ	イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
委員	藤田 政志	(株)マッシュ	常務執行役員 東京支店長
委員	田口 政幸	(株)ムラヤマ	執行役員

*JACE 事務局担当：尼子、千種

② 人材育成委員会

役割	氏名	会社名	部署名/役職名 (2022年4月1日時点)
委員長	長田 芳暁	(株)博報堂プロダクツ	イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
副委員長	小坂井 彰	五大陸(株)	代表取締役
委員	間藤 芳樹	(株)マッシュ	代表取締役
委員	内山 早苗	(株)UD ジャパン	代表取締役
委員	内宮 真一	(株)スポーツマネージメント	代表取締役
委員	酒井 基喜	(株)マッシュ	
委員	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員人事総務部長広報室長
委員	綿木 啓了	(株)ディー・エヌ・エー	プロジェクトマネージャー
委員	磯部 陽一	(株)レイ	コミュニケーションデザイン事業本部 本部長

*JACE 事務局担当：加来、石山、米山

③ サステナビリティ委員会

役割	氏名	会社名	部署名/役職名 (2022年4月1日時点)
委員長	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員人事総務部長広報室長
副委員長	羽山 寛幸	(株)昭栄美術	専務取締役
副委員長	松本 秀之	(株)フロンティア インターナショナル	第四営業本部 本部長
委員	板山 智昭	コーユーレンティア(株)	イベント営業部 係長
委員	宮口 真	(株)電通	CX プランニング・センター ライブエクスペリエンスデザイン部長
委員	松原 努	日本コンベンション サービス(株)	営業企画部 サステナビリティ・SDGs 推進リーダー
委員	森下 慎一	(株)東急エージェンシー	第3統合ソリューション局 第3アクティベーション部 プランニングディレクター
委員	生形 善彦	凸版印刷(株)	情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルイノベーション事業部 公共事業推進センター アカウ ントプロデュース本部 プランニング第三部 2T 課長
委員	菅谷 遼	(株)乃村工藝社	ビジネスプロデュース本部ソーシャルグッド戦略部 主任
委員	福傳 弘二	TSP 太陽(株)	クリエイティブディレクション事業部 業務推進部 業務推進1課 課長
委員	白川 陽一	(株)博展	サステナブル・ブランド事業部長 兼 サステナビリティ推進部長

*JACE 事務局担当者：尼子、千種

④ 交流部会

役割	氏名	会社名	部署名／役職名（2022年4月1日時点）
部会長	松崎 満	(株)小林工芸社	取締役 第1アカウント ディレクター
メンバー	鶴間 敏治	(株)クラフティ	取締役 事業開発部 部長
メンバー	本間 澄江	(株)サピエント	執行役員
メンバー	丸山 尚人	(株)ディー・エヌ・エー	プロモーション3部 丸山ルーム ルーム長
メンバー	池本 竜	PRG(株)	営業部 ディレクター／部長
メンバー	木白 豊	(株)レンタルのニッケン	営業企画部 イベントチーム チームリーダー
メンバー	中原 康哉	(株)ワールドカラー	取締役 事業統括本部

*JACE 事務局担当：尼子、千種

以上